

GPP ギヤポンプ

Type **FOE**

エディション: 2015-05

改訂: J / 94.12

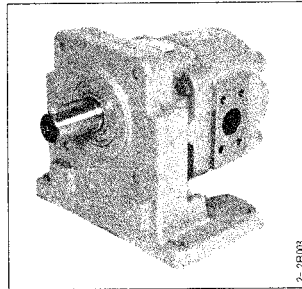
一部訂正: 2018

GOOO-1

●特長

DCJPのギヤポンプは“タフ。さが大きな特長として、長年、建設機械のみならず船用機械、産業機械分野においても、巾広く愛用されてきました。

- ベース・カップリングに最適なL形フート付。
- 高強度鋳物の使用により頑強。
- 重荷重用ベアリングを使用。
- シャフト・シール、フローティングプレートの使用で高い容積効率。
- 部品点数が少く、メンテナンス容易。



●仕様

モデル		GPP1					GPP2				
サイズ		40	50	63	80	100	125	150	180	200	
押し口の容積	cm ³	40.5	49.9	65.5	81.1	102.9	129.9	150.7	181.9	202.7	
定格圧力	MPa	17.5					17.5		14.0		
吸入圧力	MPa	min. -0.02					min. -0.02				
回転速度	最高	差込みフランジ		2000			1800		1500		
	最低	突合せフランジ		2700			2500		2300		
1500min ⁻¹		300		300			300		300		
定格圧力のとき (注1)	吐出量 L/min	54.1	66.8	89.7	115.0	146.6	178.5	209.5	257.8	290.7	
	入力 kW	18.6	23.6	30.3	39.1	47.1	61.8	71.7	88.8	77.1	
質量	kg	29.5	30	31.5	32.5	33.5	48	49.5	51.5	52.5	
作動油	種類	鉱物性作動油									
	油温範囲	°C		-25~+90							
	粘度範囲	mm ² /S		10~1000							
	最適粘度範囲	mm ² /S		25~85							
フィルトレーション	µm		25~40								

注1) 回転速度 1500 min⁻¹、定格圧力における実吐出量と入力を示します。

●形式表示

GPP **1** - FOE **40A** **1** **R** - **11X**

① ② ③ ④

①ポンプモデル

- 1 = モデル 1
- 2 = モデル 2

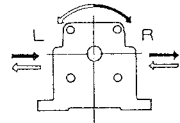
②サイズ

- (GPP 1)
- 40A = 40.5 cm³
 - 50A = 49.9 cm³
 - 63A = 65.5 cm³
 - 80A = 81.1 cm³
 - 100A = 102.9 cm³
- (GPP 2)
- 125A = 129.9 cm³
 - 150A = 150.7 cm³
 - 180A = 181.9 cm³
 - 200A = 202.7 cm³

③回転方向

(ドライブシャフト側からみて)

- R = 右回転
- L = 左回転



④デザイン番号

11X = デザイン番号 110

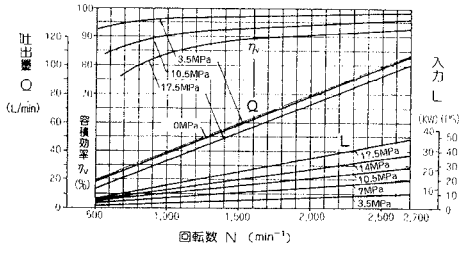
[デザイン番号110~119は予告なしに変えることがあります。設計変更や互換性がなくなつたとき変更されます。]

●性能

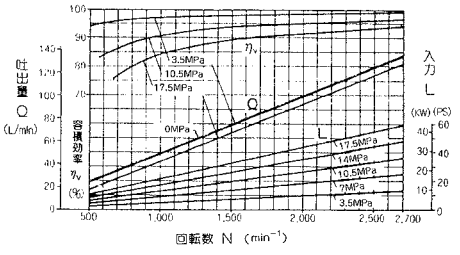
(作動油: ISOVG46, 油温: 50°C)

●モデル GPP1

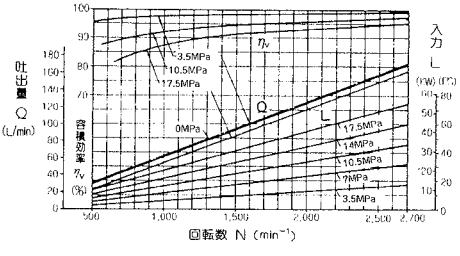
●サイズ 40



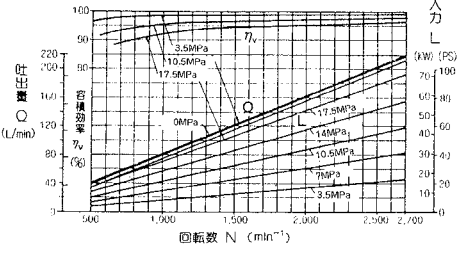
●サイズ 50



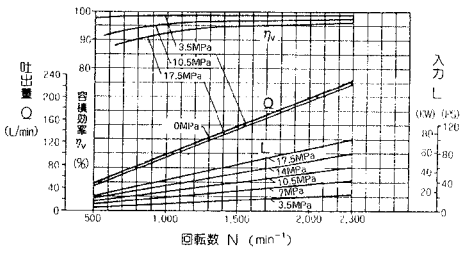
●サイズ 63



●サイズ 80

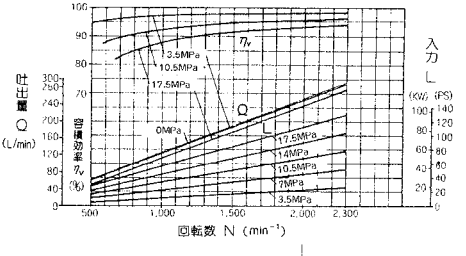


●サイズ 100

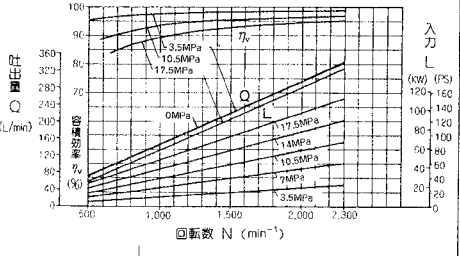


●モデル GPP2

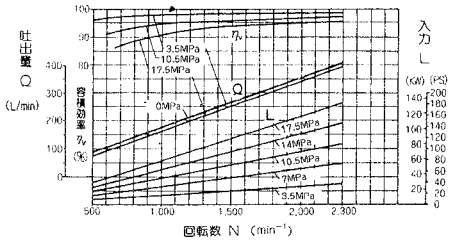
●サイズ 125



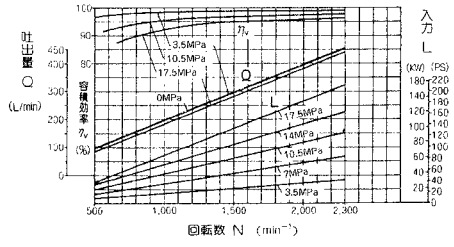
●サイズ 150



●サイズ 180

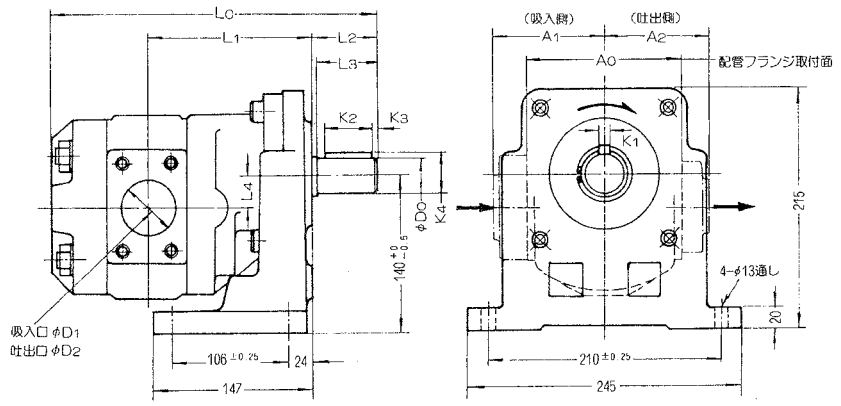


●サイズ 200



●外形寸法

(差し込み溶接フランジは付属されておりません。)

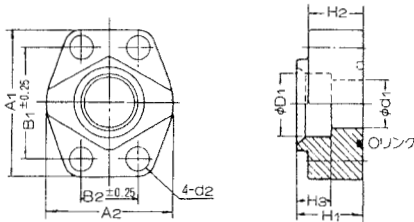


注) 図は右回転(R)の場合を示します。左回転(L)の場合は吸入吐出方向の矢印が逆になり、A1、A2寸法も逆になります。(差し込み溶接フランジの寸法です。)

モデル	サイズ	A ₀	A ₁	A ₂	D ₀	K ₁	K ₂	K ₃	K ₄	L ₀	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	吸入ポート		吐出ポート	
															D ₁	適用管径	D ₂	適用管径
GPP1	40	140	95	95	32 ^{+0.009} _{-0.004}	10 ^{+0.000} _{-0.015}	45	3	36.5 ^{+0.012} _{-0.012}	270	139	60	55	27	25.5	20A	19.0	15A
	50		100	95						32.0	25A				25.5	20A		
	63		100	100						38.0	32A				32.0	25A		
	80		105	100						51.0	40A				38.0	32A		
	100		105	100						51.0	40A				38.0	32A		
GPP2	125	175	122.5	117.5	40 ^{+0.009} _{-0.004}	12 ^{+0.000} _{-0.018}	60	3	43.5 ^{+0.012} _{-0.012}	325	160	75	68	35	51.0	40A	32.0	25A
	150		122.5	117.5						51.0	40A				38.0	32A		
	180		122.5	117.5						51.0	40A				38.0	32A		
	200		129.5	122.5						63.0	50A				51.0	40A		

注1) 適用管径は差し込み溶接フランジを使用した場合で、SAE取付に対し、1ランク小さい管径となっています。
 2) 適用フランジの詳細は裏面を参照してください。

●差し込み溶接フランジ



適用モデル・サイズ				形 式	パーツNo	A1	A2	B1	B2	D1	H1	H2	H3	d1	d2	取付ボルト	Oリング	適用管径	
GPP1		GPP2																	
吸入	吐出	吸入	吐出																
	40			FHC 020/015/00	410 0020 153	66	54	47.6	22.2	22.2 ^{+0.2} ₀	25	20	10	16	11	M10×35	1B-G30	15A	
40	50			FHC 025/020/00	410 0020 162	70	60	52.4	26.2	27.7 ^{+0.2} ₀	25	20	12	22	11	M10×35	1B-G35	20A	
50	63		125	FHC 032/025/00	410 0020 171	80	74	58.7	30.2	34.5 ^{+0.3} ₀	30	25	14	28	11	M10×40	1B-G45	25A	
63	80~100		150, 180	FHC 040/032/00	410 0020 189	94	84	69.8	35.7	43.2 ^{+0.3} ₀	30	25	15	36	13	M10×40	1A-G50	32A	
80~100		125~180	200	FHC 050/040/00	410 0020 199	102	98	77.8	42.9	49.1 ^{+0.3} ₀	35	30	15	42	13	M10×45	1A-G60	40A	
		200		FHC 055/050/00	410 0020 209	114	110	88.9	50.8	51.1 ^{+0.3} ₀	42	36	20	54	13	M10×50	1A-G75	50A	

●取扱い上のご注意

GPPギヤポンプをご活用いただくために、次の事項にご注意をお願いします。

●推奨作動油

作 動 油	粘 度
	40℃
ISO VG32相当	28.8~35.2mm ² /s
ISO VG46相当	40~50mm ² /s

●吸入管抵抗

油タンクの据付位置はポンプ取付位置より高い方が望ましいが、ポンプ取付位置より低くなる場合には、ポンプ吸入ポート部に抵抗が - 0.02MPa をこえないようにしてください。

[特に低圧における起動時にご注意] があります。

●サクシヨンフィルタとフィルタ容量

フィルタメッシュ：
150~200メッシュ以下
(100~75ミクロン)

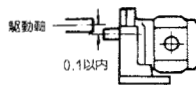
フィルタ容量：
ポンプ吐出量の2倍以上

●ポンプ寿命を長くするために、高圧ラインに10 μ mフィルタの使用をお奨めします。

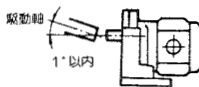
●センタリング

駆動軸との接続は直結とします。ベルト、チェーンなどラジアル方向の駆動はさけてください。
フレキシブルカップリングまたはゆるめのスプラインカップリングによりますが、センタリングの許容寸法は下記以内で、できるだけ正確にしてください。

●縦横位置



●角度



●自在軸継手

